



お知らせ

(公社)日本地すべり学会中部支部現地見学会及び市町等砂防担当職員研修が開催されました。

河川砂防局砂防課

8月21日（木）から22日（金）にかけて、「長沢地すべり（浜松市天竜区）」で（公社）日本地すべり学会中部支部の現地見学会及び検討会が開催され、大学や民間の研究者、県の担当者等54名が参加しました。

また、砂防協会の県支部が共催し、市町等砂防担当職員研修として、21名の県・市町職員も参加しました。

現地見学会では、令和5年台風第2号で被災した長沢地すべり（浜松市天竜区長沢）や令和6年台風第10号で被災した渡ヶ島禿石急傾斜（浜松市天竜区渡ヶ島）の復旧工事の現場を見学し、県と市が連携した工事の内容を学びました。

また、検討会では、長沢地すべりの発災から復旧工事にかかわった県の担当者や設計業者、施工業者から、応急対応における調整や地すべり変状を踏まえた対策工の立案、工事現場での創意工夫等について説明が行われました。

参加者からは、地すべり防止区域の範囲や復旧工法の選定等について多数質問があり、活発な意見交換が行われ、災害時の初動対応から復旧工事までの流れを学ぶ良い機会となりました。

〔お問合せ先〕 砂防課傾斜地保全班

〔電話番号〕 054-221-3042



長沢地すべり.jpg



渡ヶ島禿石.jpg



検討会.jpg